

精神疾患を持つ家族が元気になるために、対応のコツを学ぶセルフヘルプグループ

阪本病院家族 SST 交流会

世話人代表 橘やよい (090-2090-5200) sst.kazokukail@gmail.com

阪本病院家族 SST 交流会 <https://kazokutudoisst.jimdofree.com>

東大阪市精神障害者家族会 <http://kazoku-sst.com>



『精神科アドボケイト』

精神科病院での入院患者への不当な扱いは少なくない。

一般の入院病棟での当たり前の権利が精神科病棟では、そうでないこともある。

そんな困っている入院中の患者の権利を守るために活動している団体がある。

病院への監督や勧告の権限はないが、

本人の話を聞いて今置かれている状況を

把握して本人の希望など段階を踏んで

解決に導いてくれる。

～現在お悩みの方は～

認定 NPO 法人大阪精神医療人権センター

入院中の方やその家族からの電話相談

水曜日 14時～17時 06-6313-0056

病院と本人で解決できればそれが一番良いが、体調の悪い当事者が上手に看護師などに思いを伝えることが難しい。医療従事者も、タイムスケジュールに則って仕事をしているので、話を聞いてあげたくても出来ないこともある。病院側も策を講じていると思うが改善にはお金も人手の問題もある。医療従事者の許容範囲を超えている状況ならば、そのための更なる研修やメンタルヘルスの強化も必要ではないだろうか。

私達、家族は病院を信頼してお任せするしかない。医療従事者の患者への接し方次第でその後の回復に繋がる影響が大きいと聞いている。

私たち家族ができることを家族会で模索していきたい。

(橘 やよい)

【東大阪家族の集いのご案内】

日 時 : 10月19日(木) 13:00～15:00

場 所 : 阪本病院 2階 会議室 近鉄大阪線長瀬駅下車 徒歩8分
直接会場へお越しください。

(必ず手指消毒してください。マスク着用のこと。)

テ ー マ : 『自閉症スペクトラムと発達障害』

参加申込 : 橘 090-2090-5200 草宮 080-6434-1544

締 切 : 10月5日(木) 電話またはメール等で必ず申込をお願いします。

*集い中止・変更の時は、申込者に連絡致します。

*会場が不明な方は12:50に病院待合室に集合してください。



家族の集いから

8月 参加者14名（会員：13名 講師：1名）

自己紹介を兼ねて「台風の準備」をお聞きしました。

懐中電灯、保存食の買い出し、雨戸・シャッター・カーテンを閉める、植木鉢を家に入れる、すだれを外す、携帯の充電、ペットボトルの水を冷凍室へ、洗濯竿を下ろす、電池チェック など。

テーマ【 東大阪市の支援体制について 】

東大阪市健康づくり課大西一平氏をお迎えして、東大阪保健所・保健センターの精神保健福祉業務についてと保健センターへ家族はどのように相談すればよい？について具体的な事例を話していただきました。

参加者からたくさん質問が出て答えていただきました。

その後、小グループに分かれて経験交流しました。



<ひと言感想から>

- * 保健センターというと、なかなか相談できる所ではなかったのですが、お話を聞いてハードルが低くなったと感じます。東大阪市で相談員11人は、すごく少なくて大変だろうと思いました。
- * 委託相談事業所・地域活動支援センターなどのそれぞれの役割も教えてください。
- * 多岐にわたる仕事内容でびっくりしました。
- * 新たな情報を知ることができました。保健センターで相談すればよいという思いはなかったです。ひとつずつ進めていきます。
- * 組織力を活かす取り組みに集中すべきだと思います。多くの解決策を出すメリットとしてまとめてほしい。相談から離れている人の履歴等をネットワークシステム作って引継ぎを完全にしてほしい。初動時一緒に動くチーム・京都のACT-Kのようなシステムを作ってほしいです。
- * 親として相談に行った時、やる事を親に返さず、保健センターが主体になって他の機関とつながりをもって動いてもらえるとありがたい。質問に答えていただきありがとうございました。
- * 講演いただいた内容をホームページに掲載してほしいです。
- * 自閉症スペクトラム・強迫性障害を治す病院があるのだろうか？根本治療の薬の開発見通しは？
- * 訪問看護ステーションの方にはいただき、好きなゲームとも付き合っていていただく中で変わってきました。エコー・採血・尿検査を出かけてしてきました。悪いところがなく安心しました。